

## 平成30年度事業報告書

## 1. あんなか兄弟姉妹会ケセラセラについて

あんなか兄弟姉妹会ケセラセラは、精神疾患を抱える兄弟姉妹をお持ちの方々のピアサポートの場所として2017年4月に活動を開始しました。精神疾患やその周囲の方を対象にしているという事業の特性から、政策的な後押しもなく、一般市民の認知度もまだまだ低いため、今後の粘り強い活動に向けて事務局機能を強化した一年間となりました。

## 2. 事業の成果および課題

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益者の人数
ピアサポート事業	<p>精神疾患を患う兄弟姉妹等のピアサポートの場を提供し、精神疾患を抱えるきょうだいを持つ人の日頃の悩みや苦しみを分かち合いました。きょうだいの就労の悩みや、将来の生活設計、結婚などの悩みも話し合われました。すぐにその場で解決されるような悩みではないからこそ、こういったピアサポートの場が必要と考えます。</p> <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段一人で抱え込んでいることを話せる場があることの安心感を参加者が持てた</li> <li>・同じような悩みを持つ人とのつながりがもてた</li> </ul> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度の低さを克服するため、宣伝力の強化</li> <li>・運営的自立をいかに果たすか</li> </ul>	<p>2018年 4月8日（日） 5月13日（日） 6月10日（日） 7月8日（日） 8月12日（日） 9月9日（日） 10月14日（日） 11月11日（日） 12月9日（日） 12月10日（日） 2019年 1月13日（日） 2月10日（日） 3月10日（日）</p>	<p>NPO法人 Annakaひだまり マルシェ</p>		3人

リカバリー カレッジあん なかの運営	<p>疾患を持つ人やその支え手、地域住民などが互いに学び合う「リカバリーカレッジあんなか」の立ち上げに向けての準備を行い、そのキックオフイベントとして、講演会「リカバリーカレッジの可能性」を開催しました。講師陣は、日本のリカバリーカレッジとして先駆的活動を実践されている「リカバリーカレッジたちかわ」から学長、事務局長をはじめ、たくさんの関係者の皆さんに遠方よりいらっしゃっていただきました。「水平の方向」での活動を提唱するリカバリーカレッジは、精神疾患のみならず、さまざまな分野の市民活動をするに当たってのヒントがあると感じられました。特に、「協働」という言葉が市民権を得る中で、「協働」しているつもりであるが、実際本質的な協働になっていない活動が散見されるという指摘には、改めて協働とは何かを問う必要性を実感しました。</p> <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「リカバリーカレッジ」の理念に共感する参加者が多く、活動の必要性を改めて感じさせた</li> <li>・まだまだ認知度の低い「リカバリーカレッジ」というものを参加者に周知することができた</li> <li>・参加者同士のつながりができた</li> </ul> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患という政策的に道筋の付きにくい社会課題に対する活動の難しさをどう克服するか</li> <li>・資金的自立をいかに果たすか</li> <li>・運営的自立をいかに果たすか</li> </ul>	2019年 3月17日（日）	NPO法人 Annakaひだまり マルシェ		20人
精神保健福祉 に関する活動	地域とのつながりをもち、精神保健領域との架け橋となるための事業を実施しました。	(1) 2018年 7月8日（日）	(1) (2) 共に NPO法人		(1) 10人

<p>(1) 講演会「リカバリー～自分の人生を主体的に生きるために～」を開催しました。社会福祉士で精神保健福祉士でもある古手聰さんを講師としてお招きし、ストレングスを活かした就労に関してお話をいただきました。</p> <p>(2) 講演会「親亡きあとのために、今できること 生活資金と権利擁護～暮らしを守る社会福祉制度を知る～」を開催しました。認定NPO法人かけはしの町田茂さんを講師としてお招きし、親が亡くなつた後の生活のためにどんな福祉制度が利用できるかについてお話をいただきました。</p> <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークを通して、強み（=ストレングス）を発見するためのヒントを参加者が得た。</li> <li>・参加者の生活に対する不安が、情報を得ることで少し解消された。</li> </ul> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力の弱さをどう克服するか</li> <li>・辛さの共有だけで終わらず、未来に希望が持てるような活動にするためにはどうしていくか</li> <li>・資金的自立をいかに果たすか</li> <li>・運営的自立をいかに果たすか</li> </ul>	<p>(2) 2018年8月12日（日）</p>	<p>Annakaひだまり マルシェ</p>	<p>(2) 10人</p>
---	--------------------------	----------------------------	--------------------

### 3. 実施事業の成果を検証することができる資料



